

ふりがな 氏名	やまもと じゅんぺい 山本 純平	都道府県	神奈川県	
所属/肩書	神奈川県立有馬高等学校 / 教諭			
私のESD活動	フードプロジェクトを通して、伝統食について学び、それを次の世代に伝え、自分たちの食文化を見直す			
活動の概要				
<p>ACCU の協力の下、FOOD PROJECT に参加した。主にインドネシア、タイの学校と連携を取り、自国の伝統食についての発表を SNS (Skype facebook) を通して行った。また、相手国の伝統食のレシピをもらいそれを学校で生徒が実際に再現した。</p> <p>日本の伝統食は様々あるが、有馬高等学校は太巻き寿司を選んだ。NGO の講師を学校に招き、太巻き寿司の歴史やレシピを学び自分たちで作った。自分たちで伝統食を作ることにより、伝統食を見直し、なぜ伝統食が失われているのか考え直すきっかけになった。また、学校全体の生徒や地域の方にも知ってもらえるように、文化祭の際ポスターを使用し、発表、共有を行った。</p> <p>最終的には、それらの活動を FOOD PROJECT に参加しているユネスコスクールの間で共有し、ESD 活動をどのように行い、効果があるのか他校の教諭と共有した。</p> <p>株式会社 UNIQLO と協力し、服のカプロジェクトに参加した。高校生のみだと、子供服を集めることが困難なため、近隣の小学校と協力し、服集めを手伝ってもらった。近隣の小学校と協力することにより、地域での連携も強化することができた。</p> <p>これらの活動により生徒が異文化に興味を持ち、自国の文化を再度見直している傾向が合った。また、自分たちが行った行動が社会に大きな影響があると達成感を持つ生徒も増え、ボランティアや国際活動に興味を持つ生徒が増えた。</p>				
今後の活動や協働への展望				
<p>私自身が ESD 活動についての知識や経験をつけることは非常に大事である。しかしながら、公立学校の教員として働く上で、人事異動の関係から1つの学校で1つのプロジェクトを継続的に行うことが非常に困難である。そのため、早い段階で引き継ぎや次の世代に受け継ぐ作業が必要である。そのため、自分自身が主体となって行っている活動を一部の生徒や教員だけに還元するのではなく学校全体・教員全体の動きとして拡散していく必要がある。そのため、ESD 活動に取り組む人たちの関係を大事にし、お互いに活動を共有することが重要だと考える。</p>				